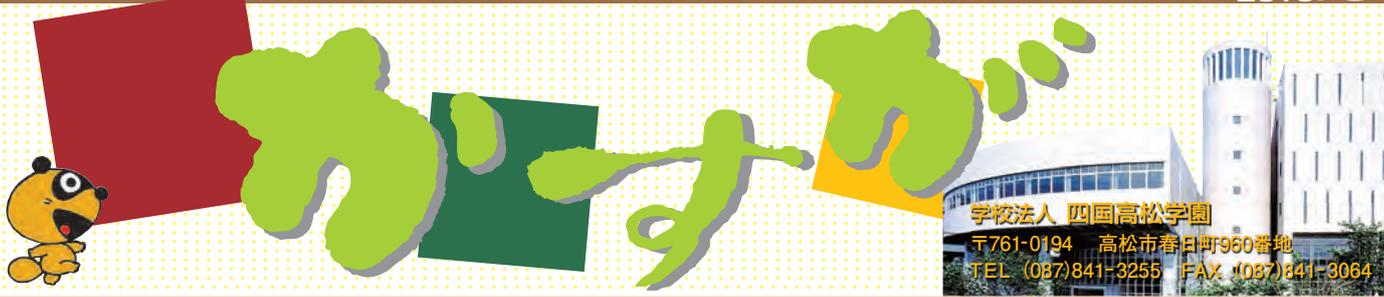


高松大学 高松大学大学院 高松短期大学 認定こども園高松東幼稚園

2019. 9



令和初めの大学祭なので、今までよりもワンステップ上の大学祭をめざしたい、高松短期大学が今年で五十周年なので、大学も五十年を迎えられるように頑張ろうという思いから、このテーマに決定し、大学祭実行委員会が中心となり、全学で取り組んでいます。メインステージでは小豆島の早食いそうめん、箱の中身



大学祭実行委員長  
経営学部経営学科二年  
加藤 萌未

祭は、「REI! WA! JUMP!」をテーマに、十月十二日・十三日に開催します。



第二十四回 高松大学祭  
第五十一回 高松短期大学祭  
10/12(土) 13(日)



「げんき村十二丁目村長」  
発達科学部子ども発達学科三年  
福田 楓

「げんき村十二丁目」  
わんぱく通り

今年で十二年目を迎え、「げんき村十二丁目わんぱく通り」

「はいくのくに」運営委員長  
「はいくのくに」は、今年「はいくのくに」のテーマは、「乗り物で行くどきどきワンダーランド」です。乗り物にちなんだ絵本を題材とし、互いに意見を出し合いアイデアを膨らませ、子どもたちの興味や年齢にあった遊びができるイベントに仕上げました。各研究室の個性溢れる装飾や遊びは、子どもたちの心を掴み楽しませてくれることでしょう。

「はいくのくに」運営委員長  
「はいくのくに」は、今年「はいくのくに」のテーマは、「乗り物で行くどきどきワンダーランド」です。乗り物にちなんだ絵本を題材とし、互いに意見を出し合いアイデアを膨らませ、子どもたちの興味や年齢にあった遊びができるイベントに仕上げました。各研究室の個性溢れる装飾や遊びは、子どもたちの心を掴み楽しませてくれることでしょう。

「げんき村十二丁目」今年で十二年目を迎え、「げんき村十二丁目わんぱく通り」

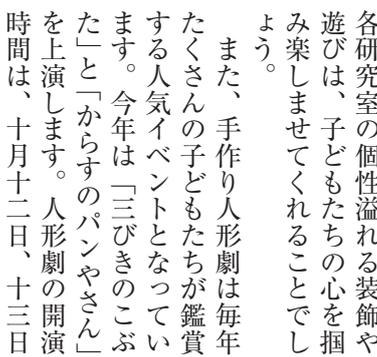


「はいくのくに」運営委員長  
「はいくのくに」は、今年「はいくのくに」のテーマは、「乗り物で行くどきどきワンダーランド」です。乗り物にちなんだ絵本を題材とし、互いに意見を出し合いアイデアを膨らませ、子どもたちの興味や年齢にあった遊びができるイベントに仕上げました。各研究室の個性溢れる装飾や遊びは、子どもたちの心を掴み楽しませてくれることでしょう。

「はいくのくに」運営委員長  
「はいくのくに」は、今年「はいくのくに」のテーマは、「乗り物で行くどきどきワンダーランド」です。乗り物にちなんだ絵本を題材とし、互いに意見を出し合いアイデアを膨らませ、子どもたちの興味や年齢にあった遊びができるイベントに仕上げました。各研究室の個性溢れる装飾や遊びは、子どもたちの心を掴み楽しませてくれることでしょう。



「はいくのくに」運営委員長  
「はいくのくに」は、今年「はいくのくに」のテーマは、「乗り物で行くどきどきワンダーランド」です。乗り物にちなんだ絵本を題材とし、互いに意見を出し合いアイデアを膨らませ、子どもたちの興味や年齢にあった遊びができるイベントに仕上げました。各研究室の個性溢れる装飾や遊びは、子どもたちの心を掴み楽しませてくれることでしょう。



「はいくのくに」運営委員長  
保育学科一年 多田 美佑

「はいくのくに」運営委員長  
「はいくのくに」は、今年「はいくのくに」のテーマは、「乗り物で行くどきどきワンダーランド」です。乗り物にちなんだ絵本を題材とし、互いに意見を出し合いアイデアを膨らませ、子どもたちの興味や年齢にあった遊びができるイベントに仕上げました。各研究室の個性溢れる装飾や遊びは、子どもたちの心を掴み楽しませてくれることでしょう。



「はいくのくに」紹介

### 発達科学部 子ども発達学科

#### 小学校教員採用試験を受験して



発達科学部子ども発達学科四年  
塩谷 夏鈴  
七月十三日、  
十四日に実施  
された香川県  
の小学校教員採用試験を受験  
してきました。

一日目は総合教養と専門教

養の筆記試験が行われました。試験では、授業や講座で学習したこと、友人同士で学びあったことが出題され、日頃の学習の成果を実感しました。

二日目は集団討論と体育の実技試験が行われました。集団討論では、初対面の人たちとの討論に緊張しましたが、明るい雰囲気での討論が進みました。実技では、先生方から助言をいただいたおかげで練習通りの力を発揮することができました。

採用試験を受ける学生のために、先生方は多数の講座を開催してくださいました。講座に継続して参加したことで自分に自信をつけることができました。先生方や支えてくださった方々のおかげです。ありがとうございます。

#### 「たーちゃん絵本ひろば」を開催して



発達科学部子ども発達学科三年  
西淵 響子  
今年度の第一  
回目は七月  
十三日に開催  
しました。子どもたちを本学  
に招いて、大型絵本などの読  
み聞かせや「ぼよん たこ  
さんヨーヨー」の製作、手遊  
びなどを行いました。このよ  
うな企画や製作の準備等は、  
学生が主体となり行なっ  
ています。何度も会議を開  
いて話し合ったり、安  
全面に配慮しながら製作  
を考えたりするのは大変  
でしたが、子どもたちが  
笑顔いっぱいを取り組む姿  
が見られたので、達成感を感  
じることができました。また、  
「次も来たい!」と言ってく  
れた子どももいて、これから  
も頑張ろうと思えました。

第二回目は十二月に開催する予定です。今までの経験を活かしながら、子どもたちがより楽しんでもらえる企画を考えていきたいです。



十二月に開催する予定です。今までの経験を活かしながら、子どもたちがより楽しんでもらえる企画を考えていきたいです。

## 高松大学

### 経営学部 経営学科

#### タスマニアのスカウト との国際交流



経営学部経営学科三年 片山 弘一  
ローバース  
カウト高松第  
十五団は、国  
際交流や野外  
活動、奉仕活  
動などの様々な活動を行って  
いるクラブです。

直近の活動では、タスマニア(オーストラリア)のスカウトとZoomを利用した国際交流を行いました。私は留学生の助けを借りながら、英語でコミュニケーションをとりました。

この会話の中でタスマニアのスカウトの活動について色々と聞くことができました。タスマニアでは海上での知識やボートの乗り方を学んだりするそうです。日本と同じ島国にもかかわらず、山や森の中での活動に関わる知識を中心に学ぶ日本と学ぶ内容が大きく異なっており、とても興味深かったです。このように国際交流を通じて新たな発見を得ることができるとはローバースカウトならではの



このように国際交流を通じて新たな発見を得ることができるとはローバースカウトならではの

#### 「石あかりロード」でのボランティア活動



経営学部経営学科三年 齊藤 実夢  
むれ源平石  
あかりロード  
は、高松市牟  
礼町にて実施  
されるイベン  
トです。開催期間中は、庵治  
石で作られた約三百基の石あ  
かりが源平史跡をつなぐよう  
に設置され、ライトアップが  
行われます。

今年度は、八月三日から九月十四日まで開催され、本学からは六十名を超える学生がボランティアとして参加し、地域住民と協力し地域活性化の一翼を担っています。実行委員会への参加やInstagramへの写真投稿、イベントでの手伝いなどを通し、様々な体験ができるので、とても勉強になります。

このボランティア活動での経験を大学生活だけでなく、社会に出た時にも活かしていきたいと思えます。

このボランティア活動での経験を大学生活だけでなく、社会に出た時にも活かしていきたいと思えます。



### 探訪/研究室

#### 自己紹介



経営学部経営学科 正岡 利朗  
愛媛県松  
山市出身。  
専門は地域  
経済学。本  
学での勤務  
年数は今年  
で二十二年  
目に突入し  
ています。趣味、特技はいろ  
いろありすぎて...とりあ  
えず「チープな旅行」という  
ことです。

基本的には学生の自由、自主性を尊重したい、成果主義。しかし、能力が乏しい場合にはある程度カタにはめざるを得ず、逆にこっちがしんどい。

怒られていたウチがハナですよ〜と言いたところですが、最近ではできるだけ怒らないようにしています。

二十歳の時の自分  
司法書士(当時合格率二%  
台)に全国最年少で合格した、  
これで食いっぱぐれないと思  
っていた...

保育学科

子どものことが本当に  
大好きだからできること

保育学科二年 松岡明日香



はぐくみ×  
カレッジの活  
動も今年で六  
年目を迎え、  
私たちはプロ

グラムを一新し、「さんぽ」  
をテーマにしたストーリーに  
歌とダンスを盛り込んだプロ  
グラムと「さがしだせ！ノロ  
リの宝 みんなみつけれられ  
かな？」の創作話とスタンブ  
ラリーを組み合わせたプログ  
ラムを準備しました。

三月からの仲間との話し合  
いや練習の繰り返しは大変で  
したが、毎回お互いが成長で  
きているという実感を持ってた  
ことはとても嬉しかったです。  
そして、六月二十三日いざ、  
さぬきこどもの国へ出発！



私たちは、  
それぞれの  
プログラム  
に全力で取  
り組みまし  
た。親子の  
皆様のとび  
つぎりの笑  
顔や嬉しい  
驚きの声、盛り上がる大きな  
拍手は、会場みんなの一体感  
を生み、私たちもこれからの  
励みをたくさんいただくこと  
ができました。

有意義だった野外活動実習

保育学科一年 宮内 愛



私たちは野  
外活動実習と  
して、二泊三  
日で余島を訪  
問しました。

私が一番印象に残っているの  
は、海での活動です。シーカ  
ヤックは一人用に乗ったので  
ある程度自分が上手くなれば  
スイスイ進みましたが、ドラ  
ゴンカヌーやボートは、自分  
が上手くできて仲間とも  
呼吸を合わせなくては思  
うように進まず、とても  
難しかったです。しかし、  
この困難な状況によって  
むしろ仲間との絆が深ま  
ったと思います。そして、  
海の風や波をからだ全体で  
感じる事ができた良い経験に  
なりました。

その他にもアクティビティ  
を通じて仲間の  
知らなかった一  
面を発見するこ  
とができたり、  
一緒に生活を共  
にしていくなで  
協調生や社会性  
も育まれたりし  
たと思います。



この余島での  
経験を今後の学  
校生活や将来の保育にも活か  
していきたいと思えます。

秘書科

屋島寺札所見学を終えて

秘書科二年 楠 薫



私は七月二  
十日に屋島寺  
へ札所見学に  
行きました。

以前より、授業の一環として  
屋島寺でボランティアガイド  
を行っていたので、多少の知  
識はありましたが、今回の札  
所見学では、ボランティアで  
は教わらなかったことも多く  
学ぶことができました。

例えば、瑠璃宝池、別  
名血の池とも呼ばれる池  
が、以前は籠城の際に使  
用するための溜池だった  
ことや、塀の瓦に徳川家  
の紋である葵の御紋が記され  
ていることなど、歴史の中の  
記録だけでなく、その背景ま  
で知ることが出来、非常に興  
味深く感じました。

また、付き添いで来られて  
いたガイドの方からも、門や  
寺の上にある竜や猪の装飾の  
口が阿吽の形になっていると  
教えていただきました。

今回の札所見学で屋島につ  
いての知識が今まで以上に深  
まり、これを機会に屋島につ  
いて更に調べてみたいと思っ  
ました。

サービスマン接遇検定準一級

秘書科二年 多田 晴香



私は「サー  
ビスマン実務Ⅱ」  
の授業で、サ  
ービス接遇

検定準一級の取得を目指しま  
した。準一級の試験は、ロー  
ルプレイング形式で、次の三  
つの試験で構成されています。  
一つめは接客の基本言動の試  
験です。二つめは接客応答で  
す。パネルの言葉を接客に適  
した言葉と言い方で表現しま  
す。三つめは受験者が野菜の  
販売スタッフとして、審査員  
(お客様)に野菜を販売しま  
す。ここでは野菜の調理方法  
や産地など、おすすめポイン  
トを伝えることが必要です。

この検定では、サービスマン  
接遇者としての愛嬌が求められ  
ますので、授業では特に表情  
に気をつけて練習をしました。  
練習を重ねるなかで、普段の  
表情にも変化が表れ、周囲の  
人からも表情が柔らかくなっ  
たと言われました。また、お  
客様の要望に合わせた対応を  
学ぶことで、傾聴姿勢や対応  
力が身につきました。

探訪/研究室

保育学科 柴田 玲子

自己紹介



保育学科  
では子ども  
と音楽表現  
を担当して  
いますが、  
本来の専門  
は作曲です。

学生時代に出会った幼児のみ  
ずみずしい感性に感動して教  
壇に立つことを決心しました。

研究室の特徴

音楽に偏ることなく、保育  
技術を高め保育者のこころを  
相互に培っていけることをめ  
ざして活動しています。

研究室の学生へ一言

自分の立ち位置を理解し、  
周囲の人を思いやることの必  
要性は言うまでもありません  
が、それに加えて、何事にも  
積極的に、責任感を持って臨  
んでほしいと思います。

二十歳の時の自分

管弦楽曲作曲に挑む前段階  
の弦楽四重奏曲を、自分の響  
きの曲にと必死になり、提出  
期限ギリギリまで試行錯誤、  
寝る暇もありませんでした。

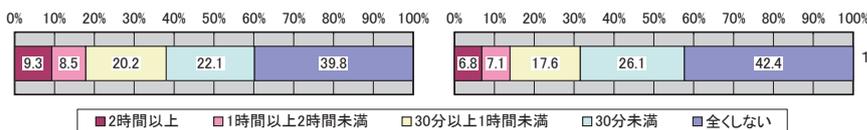
## 平成30年度 学生による授業評価

本学では、平成14年度から学期末に「学生による授業評価」を実施している。教育活動が、どのようになされているかの一端を把握し、授業内容・方法の改善・改革に資することを目的に取り組んでいる。評価結果は、実習・研修を除く全科目（集中講義を含む）と実習・研修科目に分けて集計。実習・研修を除く全科目（集中講義を含む）は大学、短期大学、大学院の全学共通科目、専門科目、全体について、実習・研修科目は大学、短期大学の専門科目、全体について平均値と回収率を算出している。

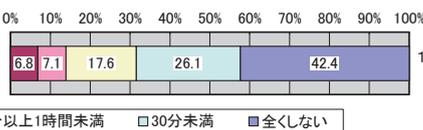
また、各授業担当教員がこの結果に対するコメントを記入した報告書を発刊。年度別に冊子にまとめた報告書は、図書館で閲覧可能である。

次のグラフは30年度に実施した全体の集計結果である。回収率は、大学は79.04%、短大は89.29%、大学院は85.7%であった。

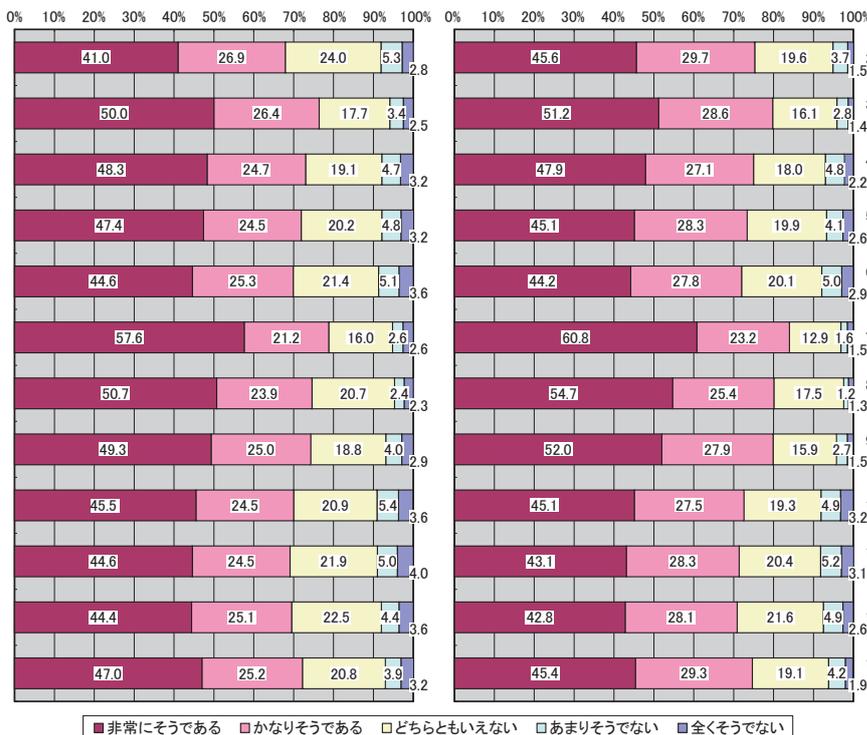
### 高松大学



### 高松短期大学



1. 1週間のうち、この授業のためにどれくらい予習や復習をしましたか



### 高松大学大学院



## 保護者教育懇談会のご案内

保護者教育懇談会を下記のとおり開催します。

大学の教育方針の説明（全体会）と担当教員との個別懇談があります。就職、学生生活相談窓口も設けます。

本学会場	9月28日(土) 9:15~(8:45~受付)
高知会場	9月29日(日) 13:00~(12:30~受付) 高知パレスホテル (高知県高知市廿代町1-18)

お問い合わせ先▶  
学生課 087-841-0864

「保育まるごと体験ツアー」を開催

保育学科では香川県若者県内定着促進支援補助金事業として「保育者をめざす高校生のための保育まるごと体験ツアー」を開催した。

今年度は七月六日にとらまる人形劇団による人形劇観劇や人形製作を体験する「人形劇編」を、八月九日にカナン保育園とカナン子育てプラザ21で保育体験を行う「保育所訪問編」を実施した。

人形劇編では昨年度に引き続き、とらまる人形劇団による人形劇「キツネがどんどん」「あさこことゆうこ」が公演され、プロの人形操作や表現方法、人形劇の教育的意義を学ぶことができた。午後からは絵本や手袋人形を使った手遊び、人形製作を行い、保育と人形の結びつきを学んだ。



保育所訪問編では、単なる職場体験とは異なり、遊びの意味や保育者の言葉かけの意図を教わりながら、また本学

保育学科を卒業した現役保育士の講話を通して保育のやりがいや魅力を感じることができた。

令和元年度四国地区大学総合体育大会試合結果

六月二十二日から七月七日にかけて愛媛県で開催された令和元年度第七十回四国地区大学総合体育大会において、卓球（シングルス）、軟式野球、ソフトテニス（個人）、陸上（女子やり投げ）、バドミントン（団体・個人）、フットサル、バレーボール、サッカー、ハンドボールに百十五名が参加した。



いずれの競技も日頃の練習の成果を発揮し、健闘した大会となり、ハンドボールは優勝、



サッカーは準優勝、陸上は女子やり投げで第三位となった。バドミントン男子団体は善戦の末、第四位となった。試合結果は、公式ホームページに掲載している。

令和元年度 第一回「学生によるブックハンティング」

学生自身が読みたい本を直接書店で選ぶ「ブックハンティング」を六月十五日、高松市内の大型書店で実施した。



今回の企画には、各学部・学科から十三名の学生が参加した。図書館で購入する本を学生が直接選ぶことで、学生の図書館利用を高めることを目的としている。例年、ブックハンティングで購入された本は多くの学生に読まれている。

今回参加した学生は、自分の専攻に関する本や興味のある分野の本を一時間半かけて約九十冊を選書した。選んだ本は、七月上旬から順次、図書館展



示コーナーに並べられている。

七夕飾り

飾り付け体験から日本の四季や風習を楽しみながら学生の創造力を高めることを目的に、保育学科の学生が六月十四日に七夕飾りを行った。風にゆれる笹の葉が夏らしい清涼感を醸し出し、個性あふれる七夕飾りや願い事を書いた短冊を結んだ竹が玄関ホールを美しく彩った。

認定こども園高松東幼稚園ニュース

「トウモロコシさん こんにちは!!」



幼稚園の南門横にある「ちびっこ菜園」。ミニトマト・キュウリ等の夏野菜や向日葵が大きく育ち、植物の成長を身近に感じられる畑です。

先日立派なトウモロコシが収穫され、2歳児りんご組の子どもたちが皮むきのお手伝いをしました。「まだ出てこんよ」と、いつも食べているトウモロコシが何枚もの皮に包まれている事に驚きながら、とても楽しそうな姿がありました。また、ひげが手についてなかなか取れなかったり、青っぽい匂いがしたり、虫に食べられている部分を見つげたり。実際に触れて、分かることや感じるものがたくさんありました。



自分たちで皮をむいたトウモロコシは本当に甘くて、「おいしい!」「おかわり!!」の声があちこちから聞こえてきましたよ。

さて、次は何を食べようかな? 収穫を心待ちにしている子どもたちです。

オータムコンサートご案内

【日時】12月5日(木) 18時30分開演  
【場所】レクザムホール小ホール (香川県県民ホール) (高松市玉藻町9-10)

入場無料

学内選考で選ばれた学生、高松大学アカデミーウィンドアンサンブル、地域連携センター講座受講生他による演奏会です。ぜひご来場ください。

### 開南大学と 大学間交流協定を締結

令和元年七月十六日、本学の佃昌道学長、出木浦孝短期大学副学長、関由佳利秘書科学科長が、台湾の開南大学を訪問し、国際理解と協力、学術交流活動、文化的絆の強化、さらに両大学間の学生と教職員との交流プログラムの確立を目指すことを目的に大学間交流協定を締結した。



秘書科が令和二年度よりグローバルビジネスコースを開設することに

ともない、海外研修を行うため、協定先の大学を検討する中で、本学の非常勤講師で県の観光協会会長の三矢昌洋氏の斡旋で開南大学と交流を進めることとなった。平成三十一年二月十八日には、関学科長が佃学長の親書を持参し、葉哲正理事長、梁栄輝学長他六名と面会して交流に関する意見交換を行い、その後、開南大学と打ち合わせを重ね、今回の協定締結に至った。

今後は具体的な学術交流の内容や学生の海外研修等について両大学間で検討していく。

### 石碑除幕式

高松短期大学の創立五十周年を記念し、かな書道家の大西さくゑ先生に



よる「建学の精神」を石碑（高松短期大学同窓会寄贈）に刻み、中庭庭園に設置した。これを記念し、六月二十一日に除幕式を行った。来賓を代表して亀田美幸高松短期大学同窓会会長からのご挨拶と、佃昌道学長から「建学の精神」には時代や社会の変遷にかかわらず、常に一貫して本学の人間教育を特色づける創立者達の熱い思いが込められており、この石碑の細目の庵治石のように「意思は固く、気持ちは細やかな」人間として成長できるように常に建学の精神を心に留めてほしい旨お話があった。

### キラリ☆輝く人

全日本バレエコンクールに出場



保育学科2年  
小野春奈さん

3歳からクラシックバレエを習っており、高校時代や短大に入ってから四国バレエコンクールやNBAジュニアバレエコンクールで入賞し、全日本バレエコンクールに出場することができました。「予選落ちした悔しい思いをやることでもありましたが、勉強がら部活、アルバイト等と両立しながらあきらめずに努力し続けました。」と小野さん。来年のコンクールでも、よい成績がとれるよう努力していきたいと抱負を語ってくれた。

### 大学生が瀬戸内国際芸術祭でボランティア

大学の授業「総合講座」を履修する経営学部、発達科学

部の学生約百七十名が、瀬戸内国際芸術祭二〇一九の夏会期でボランティアを行った。



「総合講座」では、地域との関わりを学び、地域の特徴や地域活動の大切さを知ること等を学んでいる。事前学習として、六月に瀬戸内こえびネットワークから講師を招き、概要や地域への効果、ボランティアアサポーターの役目、活動に対する心構え等の説明を受けた。

事前学習を踏まえ、学生



7月20日、8月17日に本学でオープンキャンパスを開催しました。たーちゃんは、本館ホールでのお出迎えや参加者とのジャグリングなど、たくさんの方と交流することができました。



たちは八月に女木島、男木島小豆島で受付や誘導などのボランティア活動を行った。学生たちは笑顔で来場者をお迎えし、瀬戸内国際芸術祭のスタッフとして活動した。



### 編集後記

☆テレビCM「大学紹介（イメージ）編」を放送中です。ぜひご覧ください。  
☆「たーちゃん」グッズとしてクリアファイルとメモ帳を作成しました。また、大学オリジナル「スタッフジャンパー」も作成しています。（N）